

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員		寶大寺 淳 他	実務経験とその関連資格	薬剤師として、株式会社ファーマシに勤務。			
《授業科目における学習内容》							
生体に対する薬物の作用メカニズムを学び、疾病の治療への応用や有害事象／副作用について理解する。							
《成績評価の方法と基準》							
出席状況並びに筆記試験で総合的に評価する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 医学書院 参考:臨床薬理学 メディカ出版							
《授業外における学習方法》							
テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。							
《履修に当たっての留意点》							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学総論(薬理学とは、薬理学の基礎知識)について学ぶ。		テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	薬理学総論(薬理学とは、薬理学の基礎知識)				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学各論(抗感染症薬)について説明できる		テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	薬理学各論(抗感染症薬)				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学各論(抗がん薬、免疫治療薬)について、説明できる		テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	薬理学各論(抗がん薬、免疫治療薬)				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学各論(抗アレルギー薬・抗炎症薬)について説明できる		テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	薬理学各論(抗アレルギー薬・抗炎症薬)				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系に作用する薬物について説明できる		テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	神経系に作用する薬物				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓血管系に作用する薬物について説明できる	テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	心臓血管系に作用する薬物		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物について説明できる	テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝に作用する薬物 ほかを説明できる	テキスト 配布資料 AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	代謝に作用する薬物 ほか		
第9回					
第10回					
第11回					
第12回					
第13回					
第14回					
第15回					